

11月24日9時00分からCRTで収録予定

社会人の皆様のためのセミナー参加の常識

一般社団法人 栃木県生産性本部
会長 林 明夫
(開倫塾 塾長)

1. <自覚をもって学ぼう>

- (1)社会人の皆様は、仕事や社会的活動、よく生きるために様々なセミナーや勉強会に参加なさることが多いと思います。
- (2)そこで、今日の開倫塾の時間は、「社会人の皆様のためのセミナー参加の常識」についてお話しします。
- (3)「私は誰」「ここはどこ」などと、「今日、このセミナーで学ぶ目的は何か」などと、自覚をもってセミナーに参加することをおすすめします。



2. <テキスト・資料の予習を>

- (1)①セミナーや研修会など会場、「会場にはスタート時間の約30分前に到着」
 - ②トイレなどを済ませて着席できるよう、余裕をもって出発することを心掛けてください。
 - ③30分前に着席できるのも大切な能力です。

- (2)①セミナー開始30分前に到着したら何をするか。
 - ②本日のテキスト・資料に目を通すこと。
 - ③「予習」をすることが大切です。

- (3)①テストや資料を一語一語、ゆるがせにしないでお読みください。

②語句の意味がわからない場合には、辞書やインターネットで調べましょう。

③そして、何がよくわからないかをはっきりさせて、セミナーに臨んでください。

○予習は何のために行うか。「よくわからないことを明確にし、問題意識をはっきりさせてセミナーに臨む」ことが、「予習の目的」です。



3. <セミナー中は、講師の先生の指示通り御参加>ください。

4. セミナー終了後は、<「復習」と「定着」を>

(1)①「復習」とは、セミナー終了後、その日の「テキスト」「教材」「ノート」などを、その日のセミナーを思い出しながらゆっくり読み直すことです。「復習」し、内容の理解に励んでください。

②「意味」のよくわからない「語句」は、辞書やインターネットで調べる。

③調べた内容は、テキストやノートに書き写し、その場で覚えましょう。「ことばは力」です。身につけている「語句の数」を増やしましょう。

(2)①次は「定着」です。

②「定着」とは、十分「理解」できたら、「テキスト」や「教材」「ノート」を、全部「身につける」ことです。

③「スミスラスミまで覚え」「定着」させることが大事です。

(3)<定着のための3大練習>…

身につける、覚えるためには、次の3つの練習が役立ちます

①「音読練習」……………声を出してスラスラ言えるようになるまで読む「音読練習」

・大切なことは、何も見ないで言えるまでにする…「暗唱」を！

②「書き取り練習」……教科書や新聞の書体「楷書(かいしょ)」で書き順も含めて正確に書けるようになるまで「書き取り練習」

・大切なことは、何も見ないで書けるまでにする…「暗記」を！

③「計算・問題練習」…大切な「計算や問題」は、見た瞬間にパッパッパッと正解が出るまで練習を！



5. <応用>…「業務・仕事で役立つ」のが「応用」

本日学んだことを、仕事や課題解決にどう用いるか、その手順・プロセスを考えましょう。

(1)<課題解決のための手順>

①「問題の発見」…「何が問題か」をはっきりさせる

②「原因の推定」…「本質の原因は何か」を推定する

③「応急措置」……「では、とりあえずどうしたらよいか」を考える

④「制度変更」……「ゆくゆくはどのようにシステムを変えたらよいか」を考える

(2)このためには<ベストプラクティスのベンチマーク>を

①「社内ベストプラクティスのベンチマーク」

②「同業他社のベストプラクティスのベンチマーク」

③「異業種のベストプラクティスのベンチマーク」

○「ベンチマーク」とは、「ベストプラクティス」から「素直な心で学ばせていただくこと」です。

(3)あとは、＜「PLAN」「DO」「CHECK」「ACTION」＞、
＜「実験」「観察」「分析」＞あるのみ！



6. ＜例えば＞一般社団法人栃木県生産性本部のセミナーであれば、このセミナーを「生産性向上」に結び付けよう！

(1)「生産性向上」に向け、「分母(IN PUT)」の適正化・改善と「分子(OUT PUT)」のために、顧客価値の極大化が大切です。この取り組みのために、是非、生産性本部のセミナーの最大活用をお勧めします。

(2)①しかし、現実には厳しく、「経営数値の改善」は困難を伴います。

②生産性本部のセミナーや研究会を通じて、社内や団体内はもちろん、社外や異業種の皆様とのコミュニケーションを図り、「励まし合う仲間づくり」をお勧めします。

(3)①同じセミナーや研修会に、毎年、トップを含め社内の同じメンバーで参加し、問題意識や目標を共有化することもお勧めします。

②セミナーから帰って、実行に移すときには、「志」や「問題意識」を同じくする仲間と一緒にの方がやりやすいためです。

③「励まし合う仲間づくり」もセミナー参加の常識です。

○「志」を同じくする「励まし合う仲間づくり」は、同じセミナーに参加した他社の方々とも可能です。



7. ＜さらなる勉強を＞

(1)例えば、栃木県生産性本部のセミナーに参加後は、生産性の向上に直結する次の段階のセミナーに参加することをおすすめします。

(2)「日本経営品質賞」の栃木県版である「栃木県経営品質賞」、更には、「日本経営品質賞」に取り組み、「卓越した業績(Performance Excellence)」を目指していただくことを心からお勧めいたします。

(3)栃木県経営品質協議会の最大限御活用も有意義です。

力を合わせてがんばりましょう！

